

令和 3 年度 市川市立第二中学校 学校評価の結果について

1 結果の項目について

- 学校評価の結果（HP 版）は、「1 確かな学力」「2 豊かな心」「3 健やかな体」「4 信頼される学校」ごとに、「（1）アンケートの結果」「（2）アンケート結果の分析及び学校運営改善の方向性」「（3）学校関係者評価」に分けてまとめています。

2 アンケートの結果について

- 保護者アンケートの結果のうち、市内共通の設問項目は、今年度前期（令和 3 年 7 月）、及び中学校の市内平均と比較できるようにグラフ化しています。
- 保護者アンケートの結果のうち、二中独自の設問項目は、今年度前期（令和 3 年 7 月）と比較できるようにグラフ化しています。

3 「アンケート結果の分析及び学校運営改善の方向性」について

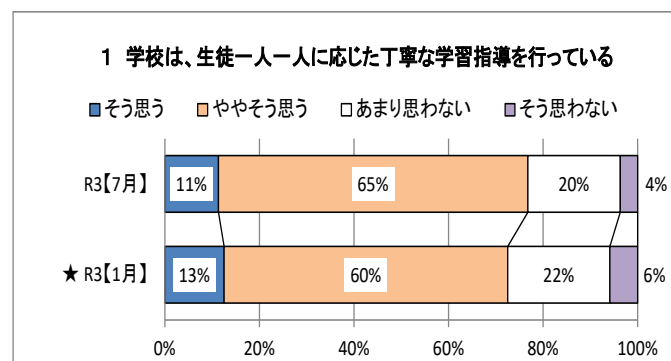
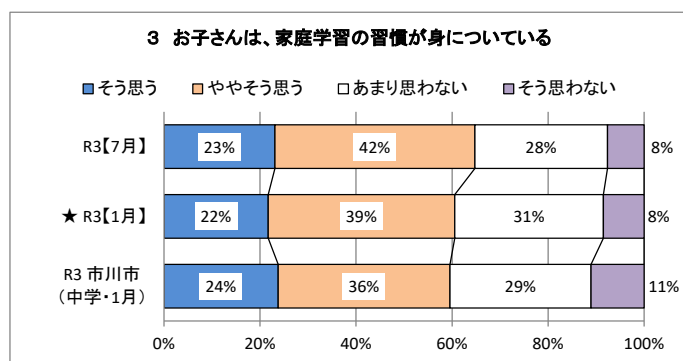
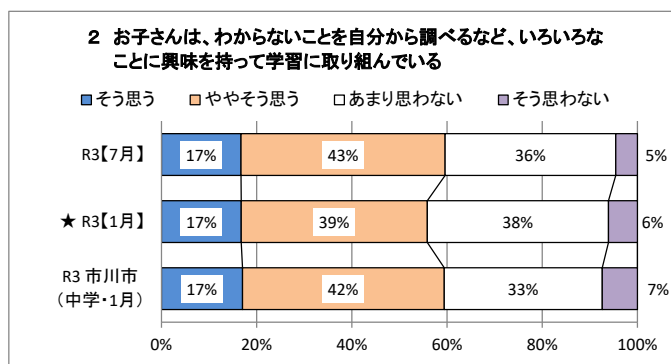
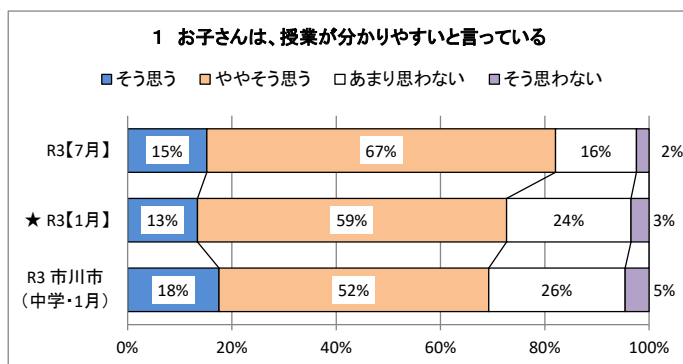
- 「（2）アンケート結果の分析及び学校運営改善の方向性」は、「学校の役割」、及び「学校が出来ること」を総合的に勘案して、改善の方向性を示しています。

4 学校関係者評価について

- 「（3）学校関係者評価」は、2 月 18 日開催の第 4 回学校運営協議会において、ご協議いただいた評価を記載しています。

1 「確かな学力」について

（1）アンケートの結果



（2）アンケート結果の分析及び学校運営改善の方向性

- ・「授業は分かりやすい」ことの評価は前期よりも 10%低くなっています。このため 2 月に、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、体育、技術、家庭、英語の 10 科目について、「知識や技能」「考

える力や表現する力」などが身についているかどうかを自己評価するアンケートを新たに実施し、教科ごとに今年度の学習指導を振り返り、授業改善へつなげていくこととしました。

また、個に応じた学習指導についても、情報端末の活用等を通じて充実に努めてまいります。

- ・「分からないことを自分から調べる」ことの評価は、前期よりも下がっており、市の平均よりも低くなっています。このため、各教科・領域で課題解決型の学習を設定し、自ら問いを立てて解決していく過程の充実を図るため、1月には外部講師を迎えて「課題設定の方法を学ぶ」教職員研修会を実施し、今後に向けた検討・協議を行いました。
- ・「家庭学習の習慣が身につく」ことの評価は、7月よりも若干下がっています。授業の予習、復習等を含めた家庭学習の習慣化について、各ご家庭のご協力を何卒よろしくお願いいたします。

(3) 学校関係者評価

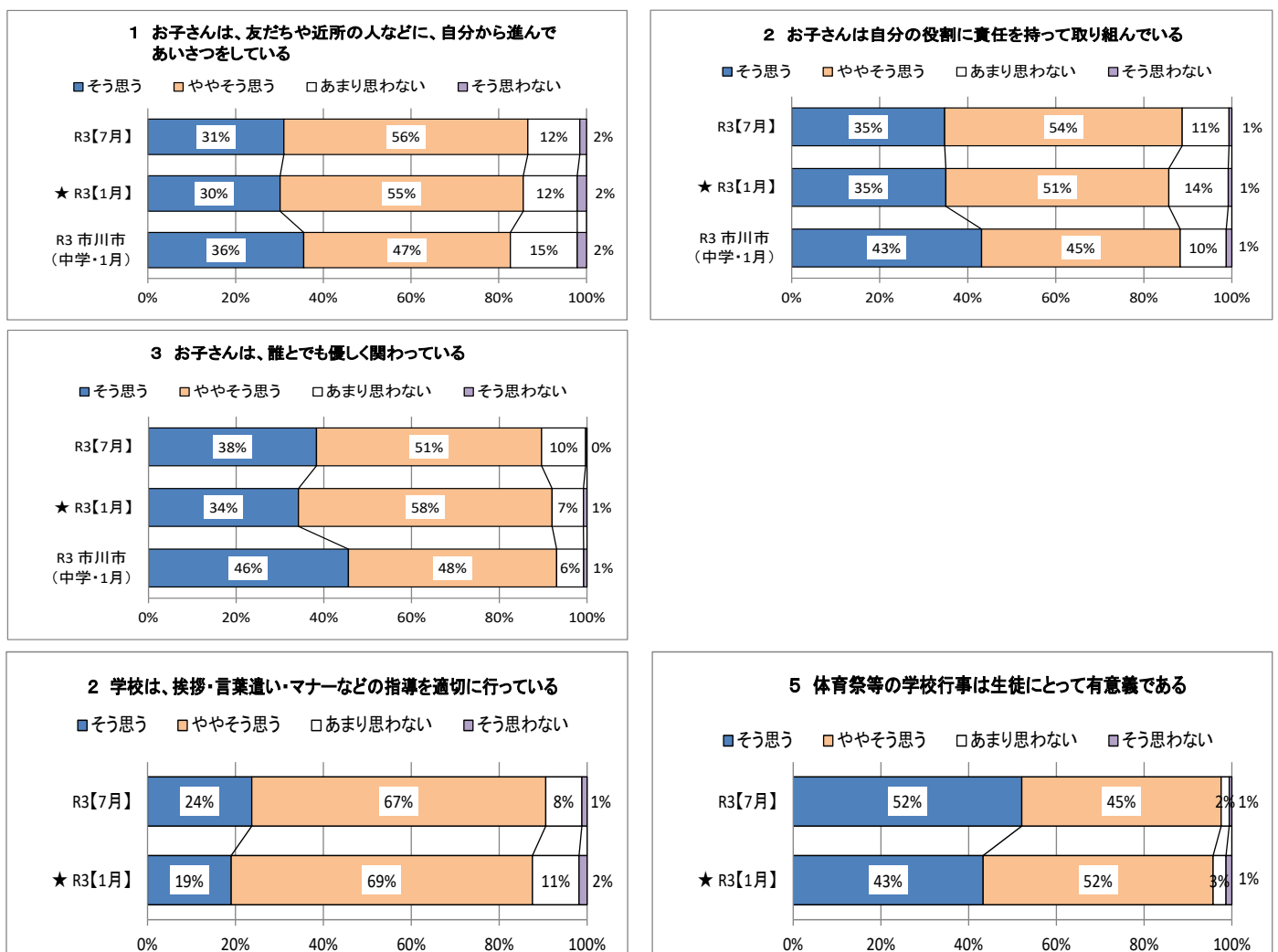
○達成状況：4.0／5.0

○評価内容及び意見

- ・自由進度学習を通して自ら学ぶ力を高めることは大切なことだ。良い取組である。
- ・自ら学ぶ「学び方」についていけない子には、補習教室等を含めて支援してほしい。
- ・自由進度学習については、子供たち自身にも分かるように伝えてほしい。

2 「豊かな心」について

(1) アンケートの結果



(2) アンケート結果の分析及び学校運営改善の方向性

- ・「誰とでも優しく関わる」ことの評価は、前期よりも高まっています。「自分の役割に責任を持つ」ことの評価は若干下がっていますが、学校では、委員会や係の活動に、生徒一人一人が責任をもって取り組む姿が見られています。また、生徒が主体的に活動する場面を創出するなどして、自己有用感や自己肯定感を高める取り組みを、引き続き進めてまいります。
- ・「学校は、挨拶・言葉遣い・マナーなどの指導を適切に行っている」ことの評価は、前期よりも若干下がっています。今回の結果を教職員全体で共有し、きめ細かな指導に努めてまいります。

(3) 学校関係者評価

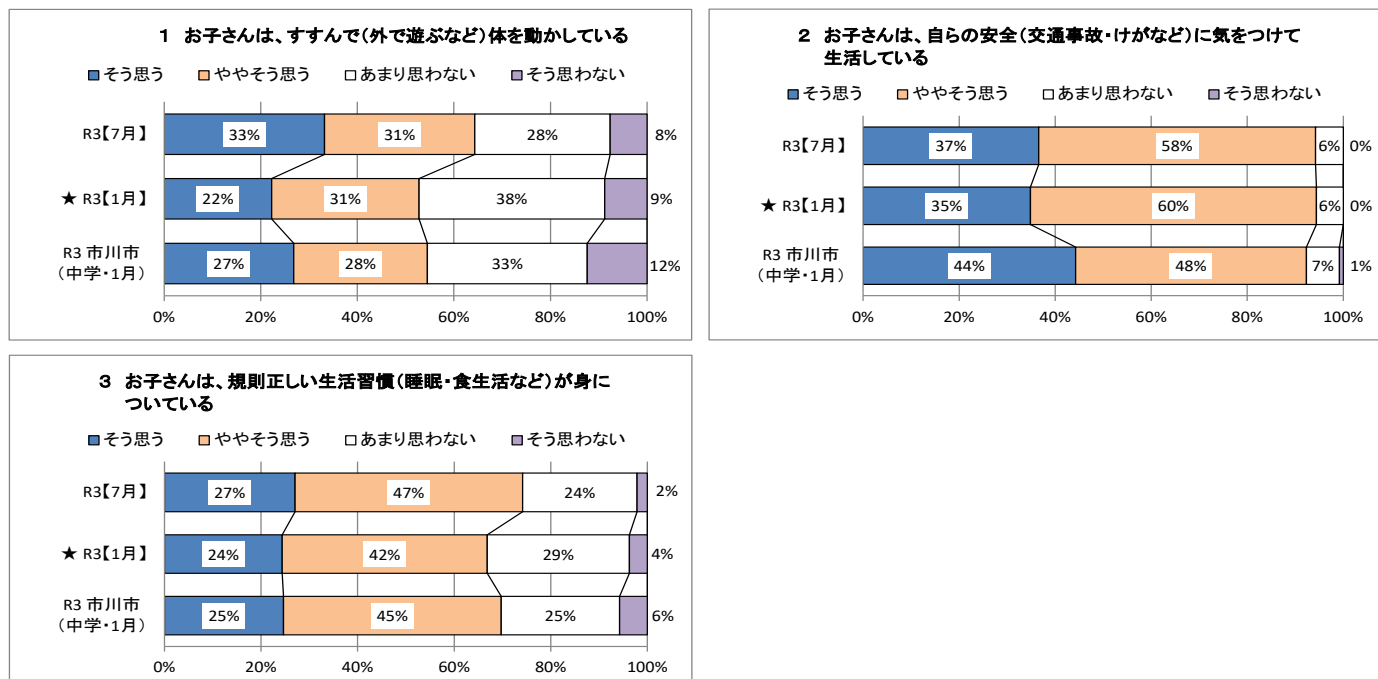
○達成状況：4.3／5.0

○評価内容及び意見

- ・合唱コンクール等の学校行事は、自己肯定感を高めるものなので、すすめてほしい。
- ・生き物と触れ合う取り組みは良かった。
- ・生徒一人一人の心にこれからも寄り添ってほしい。”

3 「健やかな体」について

(1) アンケートの結果



(2) アンケート結果の分析及び学校運営改善の方向性

- ・「進んで体を動かす」ことの評価は、前期より低くなり、市の平均も下回っています。コロナ禍の影響も考えられますが、このことは本校の継続した課題であり、「基礎的体力の向上を図る取り組み」について、引き続き検討と実践を進めてまいります。
- ・「安全に気を付けて生活している」ことの評価は、継続して高い評価となっています。コロナ禍の中、引き続き、感染症への意識を一層高め、一人一人が感染防止対策を適切に行う取り組みを進めてまいります。
- ・「規則正しい生活習慣が身についている」ことの評価は、前期よりも低くなっています。今年度は、テレビ、ゲーム、携帯電話、スマホ、タブレットなどのメディアから離れる「アウトメディア week」を実施し、自分の生活習慣の現状を振り返る機会を通して、望ましい生活リズムの確立を図る取

り組みを進めました。実施後には、生徒から「集中力が上がった」「今までメディアで時間をつぶしていたことに気づいた」「生活にメリハリがついた」といった感想が聞かれ、保護者からも「生活リズムが整った」という感想を頂きました。今後も引き続き望ましい生活リズムの確立を図る取り組みを進めてまいります。

(3) 学校関係者評価

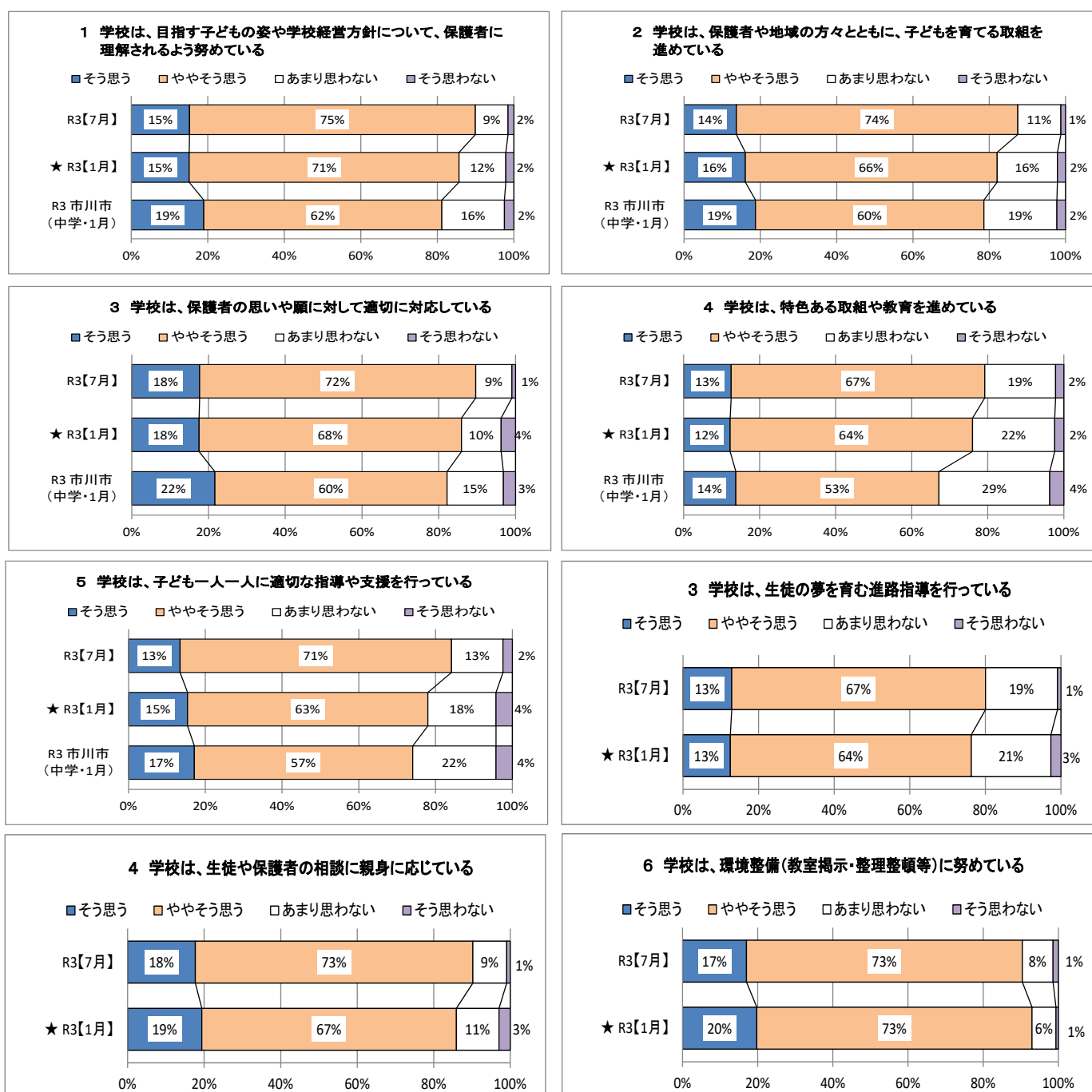
○達成状況：4.0／5.0

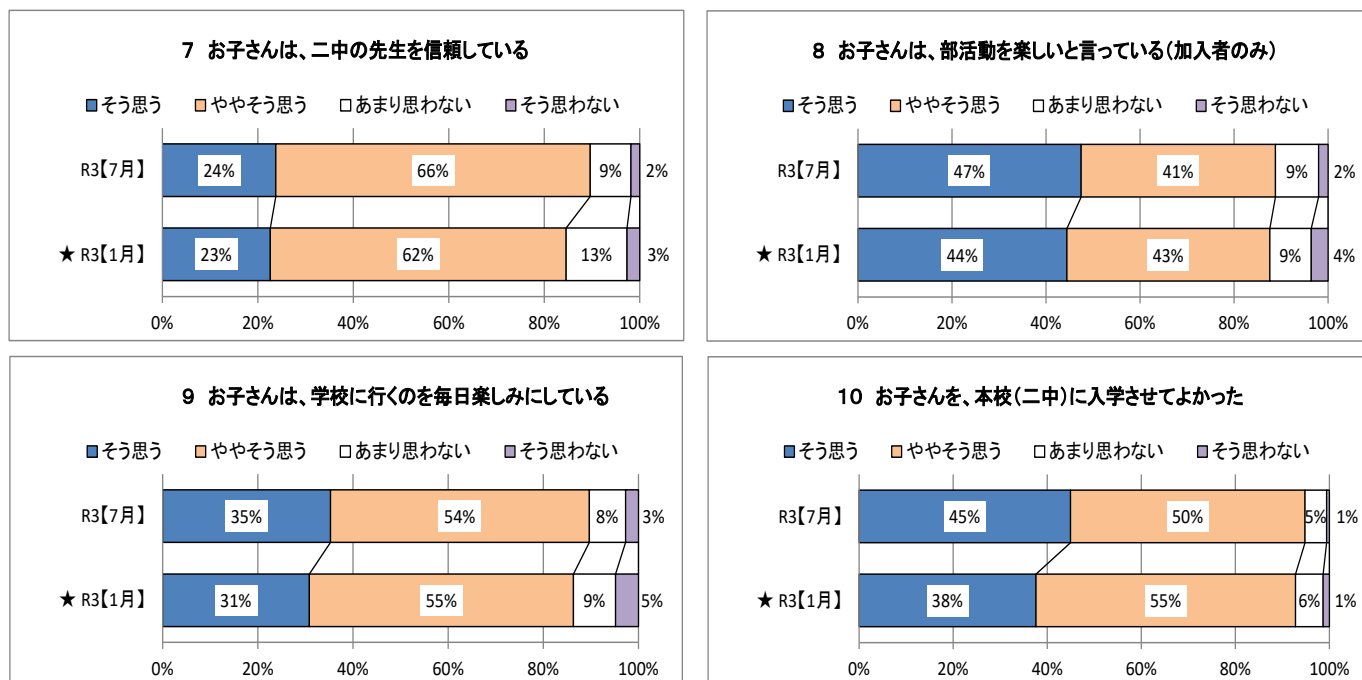
○評価内容及び意見

- ・体力向上が進まないのは、地域性があるのだと思う。小学校からの課題かも知れないので、中学校ブロック単位で取り組んでほしい。
- ・アウトメディア week は良い取り組みだと思う。生徒だけでなく、家庭で一緒にやれると良い。

4 「信頼される学校」について

(1) アンケートの結果





(2) アンケート結果の分析及び学校運営改善の方向性

- ・「学校経営方針について理解されるよう努めている」「保護者の思いや願いに適切に対応している」「生徒や保護者の相談に親身に応じている」ことの評価は、86%と、前期よりも若干低くなっています。今回の結果を教職員全体で共有し、引き続き生徒や保護者の思いに寄り添い、丁寧な対応に努めるとともに、積極的な情報発信を進めてまいります。
- ・「一人一人に適切な指導や支援を行っている」ことの評価は、市の平均を上回っていますが、前期よりも若干低くなっています。今回の結果を教職員全体で共有し、今後も個に応じた指導・支援の充実に努めてまいります。「二中に入学させて良かった」と回答する割合(93%)や、「学校へ行くのを楽しみにしている」と回答する割合(86%)をさらに高められるよう、学校の教育力向上に努めてまいります。
- ・今後も学校の様子をお知らせする機会の充実に努めるとともに、保護者の皆様の声を学校運営に生かし、家庭と連携・協力して、学校運営を進めてまいります。

(3) 学校関係者評価

○達成状況：4.6／5.0

○評価内容及び意見

- ・コロナ禍で学校の様子がわからないので、もっと情報を発信して欲しい。
- ・「二中に入れてよかった」と思う人が90%以上いるという結果に、先生方の努力に敬服する。
- ・コロナ禍の後で、社会、経済状況が変化すると思われる。学校としての対応をお願いしたい。